

チェロの女王 39年ぶりの来仙決定！

プログラム

バッハ／アリオソ ～ カンタータ第156番「片足は墓穴にありてわれは立つ」より

メンデルスゾーン／無言歌 二長調
ボロニーニ／チェロの祈り、ガウチョ・セレナーデ

シューマン／アダージョとアレグロ

グラナドス／カサド編曲／歌劇「ゴイエスカス」より間奏曲
フランク／ソナタ イ長調

チェロ：クリスティーヌ・ワレフスカ
ピアノ：福原彰美

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート

クリスティーヌ・ワレフスカ リサイタル

2013年4月22日（月）19:00開演（18:30開場）

仙台市青年文化センター コンサートホール

全席自由 / 一般前売り 3000円 - (当日3500円) 学生1500円 (大学生まで、学生証提示)
国際チェロアンサンブル協会会員割引 一律500円 前売りのみ 被災地からの特別招待あり

ハイフェッツ、ルビンシュタイン、アラウなどが絶賛したチェロの女王。衝撃の36年ぶりの来日から3年。ついに来仙が実現！！
ハリケーンサンディに心をいためるチェロの巨匠からの被災地への心強い贈り物！！

主催：「ワレフスカを聞く会」仙台実行委員会 高橋明 090-2980-4106 Email : cellokko@gmail.com

取り扱い：仙台・杜の響きコンサートホームページ(<http://www.morinohibiki.com/>) 電話：022-302-3344

協力：NPO国際チェロアンサンブル協会 (<http://1000cello.vc/>)、

東北メディカル・メガバンク機構 (<http://www.megabank.tohoku.ac.jp/>)

国際チェロアンサンブル協会会員への特別割引に関しては協会ホームページをご覧ください。

その他ご招待などに対する問い合わせはマネージメントへ。

プレイガイド：ヤマハミュージック仙台店、カワイミュージックショップ仙台店、サンリツ楽器仙台本店、
けやきの杜（青年文化センター内）、仙台・杜の響きコンサート

メール予約：メールにて前売り予約をたまわります。

cellokko@gmail.comに住所・氏名・電話番号を明記して送信して下さい。

詳細は「ワレフスカを聞く会ホームページ」で。 <http://walevska.jp>

*曲目など一部変更となることもございます。あらかじめご了承ください。

*未就学児童のご入場はご遠慮願います。

～ PROFILE ～



クリスティーヌ・ワレフスカ Christine Walevska

ロサンゼルス生れ。父からチェロの手ほどきを受けたのち8歳でエニオ・ボロニーニ、13歳でピアティゴルスキーに師事し、アメリカ楽壇にデビュー。「クライスラーのヴァイオリンに匹敵する、説得力のある音楽」と評される。16歳にて奨学金を得てフランスへ留学し、パリ音楽院でモーリス・マレシャルに師事、アメリカ人として初のチェロと室内楽で1等を取り卒業する。その後ドイツを手始めに欧州各地と南北アメリカで演奏活動を開始、1974年には初来日している。プエノス・アイレスでのドヴォルザークの協奏曲と、ヘンリック・シェリングと共演したブラームスの二重協奏曲の演奏が激賞されて以来、彼女はアルゼンチンを拠点として中南米全土で広く活躍することになる。その演奏はハイフェッツやグリユミオー、ルービンシュタインといった著名な音楽家からも高く賞賛された。レコーディングは多数あり、21歳の時にエリアフ・インバルの指揮でシューマンの協奏曲他をリリース後、1970年代にフィリップス・レーベルに多くの録音を残す。主要なチェロ協奏曲をほぼ網羅した演奏はいずれも高い評価を得ている。彼女はまた、ハチャトゥリヤンやグローフェなど多くの作曲家から作品を献呈されている。特に、史上最強のチェリストと謳われたエニオ・ボロニーニは、彼女を自分の娘のように可愛がり「お前だけが弾くように」とその全ての自筆譜を生前に渡している。

使用楽器は1740年製ベルゴンツィ。2010年に行われた36年振りの来日ツアーは、新聞・雑誌等のメディアでも大きく取り上げられた。8都市で12公演が行われ、そのうちの8公演でチケットが完売するという大成功を収めた。さらにNHKでのFM放送と3つのアルバム計7枚のCDもあわせて発売された。ホームページ：<http://christinewalevska.com>



福原 彰美 Akimi Fukuhara

大阪府出身。14歳で東京浜離宮ホールにてデビュー・リサイタルを行う。15歳で単身渡米し、サンフランシスコ音楽大学およびジュリアード音楽院で学ぶ。これまでにアメリカ各地のコンクール、オーディションで優勝または上位入賞しているほか、欧米各地でソロ演奏及びオーケストラと共演を行っている。2010年2月にハイチ大震災チャリティーコンサートでピアノを独奏し、『ニューヨークタイムズ』で好評を得る。日本での活動は、東京・銀座で開催されているシャネル・ピグマリオンデイズの2011年度アーティスト。また墨田トリフォニーホールで毎年のソロリサイタルを続行している。ピアノを多胡まき枝、松岡三恵、マック・マックレイ、シャロン・マン、ヨヘイヴェド・カプリンスキーの各氏に師事。ソロCDは『l'enfant de la musique』(1999年)と『Akimi Plays Chopin and Liszt』(2002年)を学研ブラッツ・レーベルから発売している。現在はニューヨークとサンフランシスコ、東京を拠点に活動中。2013年春にはサンフランシスコ交響楽団の室内楽シリーズに出演予定である。

ワレフスカの2013年来日ツアーに期待する

竹内貴久雄

「奇跡の来日」とまで言われた36年ぶりのワレフスカ再来日が実現したのは、2010年5月のことだった。深い息づかいの、心に染み入る音楽は、1980年代以降、ワレフスカがレコード・CDビジネスの世界から距離を置き、自身への高い評価と人気に封印をしてまで守り抜いたものだったが、それは決して「懐かしい音楽」に閉じ込められてはいなかった。ワレフスカの音楽は、どこを切り取っても、いつも「新鮮」な果実のようなのだが、そのことを最も敏感に感じ取っていたのが、ワレフスカの名を知らない若い世代の音楽ファンだったことも、うれしかった。2013年3月、私たちは、もう一度ワレフスカを聴くことができる。ワレフスカの奏でるチェロの響きから、新しい時代の新しいロマンティズムの芽吹く瞬間が聴き取れるはずである。

全国ツアー日程)

3/17(日) 福井県 敦賀市 3/19(火) 東京都 八王子市 3/24(日) 神奈川県 湯河原町 3/26(火) 愛知県 名古屋市
3/31(日) 群馬県 藤岡市 4/5(金) 東京都 千代田区 4/7(日) 福岡県 福岡市 4/11(木) 兵庫県 神戸市
4/13(土) 京都府 京都市 4/16(火) 東京都 港区 4/18(木) 秋田県 秋田市 4/22(月) 宮城県 仙台市

※詳しくはホームページ「ワレフスカを聞く会」<http://walevska.jp>